パブリック・サービス研究分科会

入館者推移からの考察グループ

入館者数の増減からみた今後の図書館像

関東学院大学　佐藤　庸子
成城大学　大川龍太郎
創価大学　坂下　明子
東海大学　杉田　典子
東洋大学　塚本　明
文化女子大学　水野里永子

Ⅰ　はじめに

最近の学生にとって図書館とはどんな所だろうか？

卒論やレポート作成のための資料を探しに、新聞や雑誌を見たり、学内試験の準備に、あるいは授業の合間に映画を見たり、友達とちょっと待ち合わせをするためになど人によって様々である。

近年の大学図書館を取り巻く環境はインターネットの普及やオンラインジャーナル、Ｅブックなどの電子媒体の導入により従来とは大きく異なる変化にさらされている。加えて学内にインターネット等が使用できるメディアネットワークセンターの設置や、Web 上で図書返却・貸出延長などのサービスが可能になったことから、学生が直接図書館に足を運ばなくても勉強できるような状況が多くみられるようになってきている。

また、現在の学生にとって飲食を禁止し、静寂を旨として携帯電話を禁止し、雑談を禁止している堅苦しい図書館は彼らにとっては、少々縁遠いものになっているようにも思える。

経済協力開発機構（OECD）の調査による 15 才対象の各国学力比較調査で日本人生徒の学力低下が問題視され、ゆとり教育からの転換が叫ばれている。また大学では全入時代を迎えて新入生の学力低下や学力のみによらない選考方法としてのＡＯ入試や推薦入試制度の弊害として入学後の学習能力も懸念されている。理系の大学などでは入試科目の軽減により入学後、基礎科目の補習を実施しなければ大学教育が成り立たないという問題も指摘されている。

そのような社会環境の変化が大学図書館にどのような影響を与えているのかという問題意識から、今回パブリック・サービス研究分科会会員校を対象とした大学の過去 10 年の入館者数等の推移を調査し、併せて研究活動の拠点であり、教育支援組織でもある大学図書館が活字離れの叫ばれる今日の学生に何ができるのかを検討した。

Ⅱ　調査項目

調査項目は、日本図書館協会発行の「日本の図書館」1997 年度版から 2006 年度版に掲載されたデータをもとに 19 大学の学生数・入館者数・貸出冊数・蔵書冊数・開館日数・館内パソコン台数等を調査した。
調査結果が下記の表である。
※1997 年から 2002 年までの入館者数については、各大学に別途調査を行った。

A 大学　　※蔵書回転率：貸出冊数/蔵書冊数*100

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	23,559	23,691	24,054	24,527	25,077	24,906	24,549	23,997	23,250	22,723
入館者数	231,000	212,000	204,000	220,000	211,000	215,000	201,000	204,000	186,000	166,000
入館者数÷学生数	9.8	8.9	8.5	9.0	8.4	8.6	8.2	8.5	8.0	7.3
貸出冊数	70,200	66,700	71,200	79,500	85,500	80,600	76,000	71,000	65,000	57,000
貸出冊数÷学生数	3.0	2.8	3.0	3.2	3.4	3.2	3.1	3.0	2.8	2.5
年間開館日数	258	266	269	274	267	269	268	270	270	270
閉館時間	19:00	19:00	19:00	19:00	20:00	22:00	22:00	22:00	22:00	22:00
閉館時間（土曜日）	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00
蔵書冊数	422,000	436,000	444,000	452,000	458,000	462,000	473,000	480,000	486,000	497,000
蔵書回転率	16.6%	15.3%	16.0%	17.6%	18.7%	17.4%	16.1%	14.8%	13.4%	11.5%
図書資料費（千円）	424,684	424,684	418,959	420,710	425,240	426,858	419,030	419,030	464,518	466,839
相互貸借貸出	51	71	91	105	112	87	111	86	97	114
相互貸借借受	41	37	41	30	25	16	35	28	49	55
文献複写提供	493	498	580	641	613	576	498	513	661	621
文献複写取寄	296	373	378	308	299	312	328	294	613	901
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										62(49)

B 大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	9,508	9,925	10,434	10,639	10,910	10,841	11,457	11,015	10,461	10,320
入館者数	105,000	97,000	81,000	150,000	212,000	222,000	223,000	216,000	210,000	205,000
入館者数÷学生数	11.0	9.8	7.8	14.1	19.4	20.5	19.5	19.6	20.1	19.9
貸出冊数	30,700	28,500	25,800	44,000	66,900	60,000	62,000	63,000	60,000	56,000
貸出冊数÷学生数	3.2	2.9	2.5	4.1	6.1	5.5	5.4	5.7	5.7	5.4
年間開館日数	235	234	226	214	238	235	235	237	239	239
閉館時間	18:30	18:30	18:30	18:30	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00
閉館時間（土曜日）	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	16:30	16:30
蔵書冊数	183,000	189,000	192,000	198,000	204,000	207,000	209,000	212,000	217,000	221,000
蔵書回転率	16.78%	15.08%	13.44%	22.22%	32.79%	28.99%	29.67%	29.72%	27.65%	25.34%
図書資料費（千円）	72,344	71,955	67,708	60,867	65,019	41,923	99,932	80,737	78,270	65,248
相互貸借貸出	2	3	3	10	12	25	33	56	42	21
相互貸借借受	21	11	16	12	16	20	21	28	26	20
文献複写提供	124	95	81	78	206	237	157	195	353	369
文献複写取寄	47	57	139	72	119	55	44	171	192	278
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										15(2)

C 大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	7,776	7,789	8,535	8,239	8,165	8,269	8,464	9,283	8,597	8,483
入館者数	280,000	263,000	276,000	242,000	258,000	334,000	363,000	461,000	447,000	458,000
入館者数÷学生数	36	33.7	32.8	30.1	31.5	40.3	42.8	53.9	51	67
貸出冊数	59,500	56,700	56,700	65,000	67,300	72,600	100,000	104,000	117,000	116,000
貸出冊数÷学生数	10.6	10.2	9.4	10.7	10.8	11.3	12.2	14	14.5	17.2
年間開館日数	284	279	292	294	300	286	297	309	306	308
閉館時間	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
閉館時間（土曜日）	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
蔵書冊数	706,000	744,000	771,000	804,000	805,000	837,000	774,000	800,000	827,000	854,000
蔵書回転率	8.4%	7.6%	7.4%	8.1%	8.4%	8.7%	12.9%	13.0%	14.1%	13.6%
図書資料費（千円）	157,510	183,297	198,517	223,749	195,183	173,193	208,004	266,060	277,301	256,597
相互貸借貸出	11	3	4	4	5	2	4	2	7	28
相互貸借借受	9	16	9	42	68	48	66	30	26	56
文献複写提供	466	570	601	570	477	416	472	345	459	444
文献複写取寄	955	901	141	225	342	160	278	314	493	437
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										123(109)

D大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	13,601	14,138	14,493	14,422	14,875	16,197	15,170	14,988	16,420	17,372
入館者数	357,000	279,000	374,000	321,000	318,000	307,000	263,000	260,000	264,000	263,000
入館者数÷学生数	26.2	19.7	25.8	22.3	21.4	19.0	17.3	17.3	16.1	15.1
貸出冊数	59,300	55,600	63,500	63,700	64,000	64,600	64,000	71,000	69,000	75,000
貸出冊数÷学生数	4.4	3.9	4.4	4.4	4.3	4.0	4.2	4.7	4.2	4.3
年間開館日数	250	245	252	252	250	254	311	311	312	315
閉館時間	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
閉館時間（土曜日）	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	19:00	19:00	20:00	20:00
蔵書冊数	1,073,000	1,090,000	787,000	821,000	853,000	384,000	352,000	314,000	305,000	311,000
蔵書回転率	5.5%	5.1%	8.1%	7.8%	7.5%	16.8%	18.2%	22.6%	22.6%	24.1%
図書資料費（千円）	357,794	459,350	386,096	383,208	404,184	621,220	420,006	429,722	411,709	428,965
相互貸借貸出	-	1	0	0	0	0	1	2	487	990
相互貸借借受	-	43	19	23	16	10	21	54	81	104
文献複写提供	764	437	414	384	289	382	422	584	1,691	2,240
文献複写取寄	434	403	507	709	871	834	1,218	1,392	1,307	1,441
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										56(56)

E大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	13,101	12,826	12,406	12,277	11,985	12,299	12,807	12,719	12,846	12,313
入館者数	283,000	254,000	234,000	220,000	212,000	198,000	373,000	419,000	419,000	410,000
入館者数÷学生数	21.6	19.8	18.9	17.9	17.7	16.1	29.1	32.9	32.6	33.3
貸出冊数	74,000	74,600	70,900	71,800	75,500	59,100	63,000	69,000	75,000	71,000
貸出冊数÷学生数	5.6	5.8	5.7	5.8	6.3	4.8	4.9	5.4	5.8	5.8
年間開館日数	261	263	264	267	261	256	255	270	266	264
閉館時間	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
閉館時間（土曜日）	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00
蔵書冊数	670,000	698,000	725,000	751,000	805,000	942,000	984,000	1,020,000	1,118,000	1,151,000
蔵書回転率	11.0%	10.7%	9.8%	9.6%	9.4%	6.3%	6.4%	6.8%	6.7%	6.2%
図書資料費（千円）	225,884	234,253	244,531	248,580	251,800	264,403	237,822	303,432	240,082	290,958
相互貸借貸出	14	5	28	7	13	7	5	11	37	33
相互貸借借受	124	159	129	172	153	139	93	139	91	69
文献複写提供	334	279	313	599	1,039	1,181	971	1,230	2,079	824
文献複写取寄	469	203	592	810	1,092	757	653	762	526	529
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										213(173)

F大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	-	-	-	-	-	11,270	11,168	11,250	11,515	11,735
入館者数	831,000	-	832,000	807,000	913,000	910,000	919,000	919,000	1,116,000	1,129,000
入館者数÷学生数	-	-	-	-	-	80.7	82.3	81.7	96.9	96.2
貸出冊数	194,369	195,625	186,278	191,343	199,803	209,314	219,117	223,752	226,771	228,550
貸出冊数÷学生数	-	-	-	-	-	18.6	19.6	19.9	19.7	19.5
年間開館日数	-	-	273	274	278	280	304	302	300	302
閉館時間	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	22:00	22:00	22:00	22:00
閉館時間（土曜日）	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	21:00	21:00	21:00	21:00
蔵書冊数	1,586,979	1,620,140	1,653,658	1,692,312	1,733,091	1,767,340	1,809,784	1,847,792	1,888,388	1,927,099
蔵書回転率	12.2%	12.1%	11.3%	11.3%	11.5%	11.8%	12.1%	12.1%	12.0%	11.9%
図書資料費（千円）	667,098	656,158	674,380	692,265	692,140	682,856	716,089	708,534	686,239	648,500
相互貸借貸出	266	284	583	1,240	1,324	1,261	1,284	1,425	1,232	1,040
相互貸借借受	685	733	857	986	939	1,042	1,038	1,040	872	834
文献複写提供	4,811	4,848	5,507	5,776	5,855	6,039	6,027	5,729	4,860	4,994
文献複写取寄	2,068	3,018	3,154	2,907	2,536	2,651	2,833	3,521	3,644	3,402
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										188(103)

G大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	3,332	3,268	3,178	3,072	2,956	2,787	2,788	2,704	2,434	2,446
入館者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入館者数÷学生数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
貸出冊数	187,800	100,400	196,800	216,600	209,200	191,200	212,000	229,000	226,000	229,000
貸出冊数÷学生数	56.4	30.7	61.9	70.5	70.8	68.6	76.0	84.7	92.9	93.6
年間開館日数	271	270	263	271	265	271	267	273	276	226
閉館時間	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00
閉館時間（土曜日）	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00
蔵書冊数	251,000	255,000	270,000	267,000	271,000	264,000	267,000	272,000	276,000	274,000
蔵書回転率	74.8%	39.4%	72.9%	81.1%	77.2%	72.4%	79.4%	84.2%	81.9%	83.6%
図書資料費（千円）	43,828	44,530	46,020	39,545	42,501	42,603	46,382	46,529	46,493	47,699
相互貸借貸出	250	198	234	147	163	136	174	211	137	154
相互貸借借受	24	9	3	7	4	5	5	2	12	12
文献複写提供	586	553	579	592	381	491	392	549	592	504
文献複写取寄	91	112	83	50	97	44	54	200	243	125
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										62(22)

H大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	5,996	5,553	6,319	5,713	10,169	10,942	10,566	10,446	10,553	9,865
入館者数	-	496,000	549,000	266,000	425,000	414,000	375,000	227,000	201,000	193,000
入館者数÷学生数	-	89.3	86.9	46.6	41.8	37.8	35.5	21.7	19.0	19.6
貸出冊数	46,200	44,700	47,800	42,800	51,500	51,800	51,000	61,000	54,000	54,000
貸出冊数÷学生数	7.7	8.0	7.6	7.5	5.1	4.7	4.8	5.8	5.1	5.5
年間開館日数	237	218	238	243	246	245	249	251	250	257
閉館時間	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15
閉館時間（土曜日）	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15	21:15
蔵書冊数	988,000	1,148,000	1,166,000	1,204,000	1,078,000	1,092,000	1,108,000	1,128,000	1,148,000	1,175,000
蔵書回転率	4.7%	3.9%	4.1%	3.6%	4.8%	4.7%	4.6%	5.4%	4.7%	4.6%
図書資料費（千円）	273,358	273,148	272,323	219,151	202,715	204,419	213,182	251,694	253,881	271,788
相互貸借貸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相互貸借借受	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文献複写提供	356	336	315	430	430	316	352	342	159	213
文献複写取寄	58	45	82	96	40	79	105	95	365	164
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										38(38)

I 大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	7,012	6,978	6,951	6,978	6,817	6,633	6,523	6,513	6,607	6,780
入館者数	-	-	427,000	430,000	428,000	402,000	234,000	241,000	248,000	251,000
入館者数÷学生数	-	-	61.4	61.6	62.8	60.6	35.9	37.0	37.5	37.0
貸出冊数	15,400	16,900	17,200	29,800	29,000	28,300	27,000	25,000	23,000	23,000
貸出冊数÷学生数	2.2	2.4	2.5	4.3	4.3	4.3	4.1	3.8	3.5	3.4
年間開館日数	253	243	268	256	261	260	263	264	261	269
閉館時間	20:50	20:50	21:20	21:20	21:20	21:20	21:20	21:20	21:20	21:20
閉館時間（土曜日）	18:50	18:50	19:20	19:20	19:20	19:20	19:20	19:20	19:20	19:20
蔵書冊数	464,000	473,000	482,000	490,000	504,000	510,000	521,000	529,000	523,000	531,000
蔵書回転率	3.3%	3.6%	3.6%	6.1%	5.8%	5.5%	5.2%	4.7%	4.4%	4.3%
図書資料費（千円）	239,456	152,798	151,007	248,580	303,874	206,522	191,345	188,264	139,289	156,073
相互貸借貸出	0	0	-	-	-	-	45	76	40	40
相互貸借借受	1	7	13	53	11	5	19	25	7	24
文献複写提供	116	90	179	355	415	563	732	824	422	353
文献複写取寄	59	83	104	152	175	189	180	144	214	192
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										65(65)

J 大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	17,967	18,016	17,985	17,734	17,324	17,427	16,099	15,687	15,443	16,169
入館者数	-	-	315,000	360,000	285,000	283,000	281,000	288,000	319,000	306,000
入館者数÷学生数	-	-	17.5	20.3	16.5	16.2	17.5	18.4	20.7	18.9
貸出冊数	46400	51,700	45,800	49,900	50,400	46,200	53,000	52,000	63,000	61,000
貸出冊数÷学生数	2.6	2.9	2.5	2.8	2.9	2.7	3.3	3.3	4.1	3.8
年間開館日数	249	231	249	247	249	253	256	253	253	272
閉館時間	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	22:00	21:00
閉館時間（土曜日）	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	22:00	22:00	20:00
蔵書冊数	958,000	977,000	996,000	1,011,000	1,028,000	1,042,000	1,062,000	1,077,000	888,000	899,000
蔵書回転率	4.8%	5.3%	4.6%	4.9%	4.9%	4.4%	5.0%	4.8%	7.1%	6.8%
図書資料費（千円）	244,225	287,998	343,081	392,914	251,967	271,483	252,041	531,208	259,219	244,168
相互貸借貸出	-	-	-	-	-	-	-	-	98	287
相互貸借借受	-	-	-	-	-	-	-	-	37	260
文献複写提供	540	458	436	493	408	555	909	966	1,455	1,631
文献複写取寄	53	91	94	142	151	161	256	570	1,055	1,439
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										56(20)

K 大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	3,221	3,198	3,169	3,183	3,092	3,025	3,402	3,320	3,349	3,373
入館者数	124,000	113,000	97,000	91,000	116,000	99,000	99,000	101,000	101,000	106,000
入館者数÷学生数	38.5	35.3	30.6	28.6	37.5	32.7	29.1	30.4	30.2	31.4
貸出冊数	25,800	24,400	30,200	29,500	27,400	25,300	26,000	27,000	28,000	29,000
貸出冊数÷学生数	8	7.6	9.5	9.2	8.8	8.3	7.6	8.1	8.3	8.5
年間開館日数	259	258	272	269	268	268	258	274	269	279
閉館時間	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30
閉館時間（土曜日）	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00
蔵書冊数	261,000	271,000	280,000	284,000	293,000	302,000	311,000	322,000	334,000	343,000
蔵書回転率	9.9%	9.0%	10.8%	10.4%	9.4%	8.4%	8.4%	8.4%	8.4%	8.5%
図書資料費（千円）	77,573	69,000	69,000	68,998	68,998	69,000	69,000	69,000	70,000	65,000
相互貸借貸出	4	4	1	4	3	8	8	4	0	0
相互貸借借受	5	1	2	18	3	5	1	4	22	2
文献複写提供	279	572	777	806	862	768	660	727	661	474
文献複写取寄	345	348	309	328	321	245	183	204	206	241
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										33(29)

L大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	11,730	10,919	11,128	11,214	12,372	12,273	14,463	14,646	14,837	14,795
入館者数	1,058,000	999,000	976,000	950,000	940,000	987,000	1,001,000	1,015,000	1,038,000	923,000
入館者数÷学生数	69.2	69.3	69.9	62.3	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
貸出冊数	175,400	169,700	155,500	144,600	146,500	154,400	158,000	172,000	168,000	163,000
貸出冊数÷学生数	14.9	16.0	13.9	12.8	11.8	12.5	10.9	11.7	11.3	11.0
年間開館日数	290	289	285	270	294	293	291	297	311	305
閉館時間	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
閉館時間（土曜日）	-	-	18:00	-	-	-	-	-	-	-
蔵書冊数	797,000	819,000	841,000	851,000	871,000	887,000	895,000	917,000	933,000	997,000
蔵書回転率	22.0%	20.7%	18.5%	17.0%	16.8%	17.4%	17.7%	18.8%	18.0%	16.3%
図書資料費（千円）	463,263	435,793	471,468	423,486	430,805	423,902	434,413	485,515	437,859	467,267
相互貸借貸出	182	248	324	220	156	272	590	682	405	442
相互貸借借受	75	68	53	67	78	88	94	82	100	104
文献複写提供	1,978	15,735	1,789	1,342	922	1,445	2,541	2,675	789	1,934
文献複写取寄	331	375	381	503	713	721	959	609	1,899	659
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										137(106)

M大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	2,748	2,608	2,582	2,682	2,168	2,272	2,329	2,286	2,276	2,279
入館者数	44,000	94,000	95,000	83,000	88,000	95,000	94,000	95,000	95,000	98,000
入館者数÷学生数	16.0	36.0	36.8	30.9	40.6	41.8	40.4	41.6	41.7	43.0
貸出冊数	22,500	18,900	20,000	8,500	18,600	19,300	19,000	18,000	15,000	19,000
貸出冊数÷学生数	8.2	7.2	7.7	3.2	8.6	8.5	8.2	7.9	6.6	8.3
年間開館日数	268	267	267	261	259	258	258	267	270	277
閉館時間	18:30	18:30	18:30	19:00	19:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
閉館時間（土曜日）	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	17:00	17:00	17:00
蔵書冊数	80,000	83,000	85,000	88,000	89,000	90,000	94,000	95,000	95,000	98,000
蔵書回転率	28.1%	22.8%	23.5%	9.7%	20.9%	21.4%	20.2%	18.9%	15.8%	19.4%
図書資料費（千円）	18,998	20,066	23,464	26,522	25,700	29,340	27,246	27,683	30,591	32,448
相互貸借貸出	0	0	0	0	3	3	0	3	1	1
相互貸借借受	4	1	2	8	21	21	8	6	5	7
文献複写提供	184	281	408	447	275	446	405	988	784	651
文献複写取寄	855	996	868	966	1,246	1,233	1,064	1,754	1,220	900
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										24(20)

N大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	5,460	5,638	5,616	5,822	5,939	5,856	5,117	5,034	5,096	5,319
入館者数	323,000	291,000	279,000	264,000	260,000	255,000	253,000	261,000	255,000	249,000
入館者数÷学生数	59.2	51.6	49.7	45.3	43.8	43.5	49.4	51.8	50.0	46.8
貸出冊数	43,300	43,700	48,300	52,600	53,400	50,800	49,000	47,000	46,000	47,000
貸出冊数÷学生数	7.9	7.8	8.6	9.0	9.0	8.7	9.6	9.3	9.0	8.8
年間開館日数	282	283	285	284	283	279	279	274	261	272
閉館時間	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00
閉館時間（土曜日）	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00
蔵書冊数	542,000	560,000	576,000	594,000	609,000	623,000	639,000	653,000	663,000	666,000
蔵書回転率	8.0%	7.8%	8.4%	8.9%	8.8%	8.2%	7.7%	7.2%	6.9%	7.1%
図書資料費（千円）	246,140	233,383	268,976	218,254	225,088	230,702	210,604	219,255	226,271	222,135
相互貸借貸出	11	12	26	40	61	56	74	87	57	105
相互貸借借受	129	117	242	242	266	220	144	168	145	168
文献複写提供	596	682	710	728	935	1,134	1,341	1,334	695	600
文献複写取寄	470	474	831	1,399	760	1,530	889	763	771	722
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										22(19)

O大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	1,999	1,970	1,978	2,011	2,063	2,040	1,998	1,961	1,927	1,925
入館者数	147,000	-	-	-	-	-	199,000	89,000	87,000	75,000
入館者数÷学生数	-	-	-	-	-	-	99.6	45.4	45.1	39.0
貸出冊数	19,200	17,400	20,100	23,200	21,000	19,300	16,000	18,000	17,000	17,000
貸出冊数÷学生数	9.6	8.8	10.2	11.5	10.2	9.5	8.0	9.2	8.8	8.8
年間開館日数	234	231	235	236	237	242	260	256	263	259
閉館時間	18:20	18:20	18:20	18:20	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00
閉館時間（土曜日）	15:30	15:30	15:30	15:30	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00
蔵書冊数	213,000	220,000	228,000	235,000	243,000	253,000	259,000	267,000	272,000	279,000
蔵書回転率	9.0%	7.9%	8.8%	9.9%	8.6%	7.6%	6.2%	6.7%	6.3%	6.1%
図書資料費（千円）	90,192	76,543	88,412	83,100	96,494	85,529	72,598	66,409	74,770	73,234
相互貸借貸出	12	27	38	59	51	57	95	101	68	130
相互貸借借受	22	20	42	53	40	54	26	38	39	70
文献複写提供	100	109	86	89	71	49	196	221	148	676
文献複写取寄	94	119	163	150	169	90	170	147	282	192
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										33(32)

P大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	6,826	7,126	6,915	6,186	6,499	6,604	6,148	6,550	6,409	6,545
入館者数	229,000	228,000	240,000	218,000	220,000	196,000	196,000	220,000	270,000	271,000
入館者数÷学生数	33.5	32.0	34.7	35.2	33.9	29.7	31.9	33.6	42.1	41.4
貸出冊数	41,400	41,900	40,000	46,000	44,800	43,300	42,000	48,000	50,000	43,000
貸出冊数÷学生数	6.1	5.9	5.8	7.4	6.9	6.6	6.8	7.3	7.8	6.6
年間開館日数	225	252	225	265	252	254	260	233	266	267
閉館時間	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30
閉館時間（土曜日）	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30
蔵書冊数	617,000	636,000	666,000	665,000	683,000	710,000	729,000	747,000	769,000	791,000
蔵書回転率	6.71%	6.59%	6.01%	6.92%	6.56%	6.10%	5.76%	6.43%	6.50%	5.44%
図書資料費（千円）	136,244	143,022	211,514	220,501	226,167	171,252	210,048	175,748	221,945	211,979
相互貸借貸出	75	53	63	82	107	89	83	72	50	38
相互貸借借受	25	55	97	57	75	42	60	78	66	23
文献複写提供	251	321	269	297	368	395	308	234	234	169
文献複写取寄	248	218	177	223	240	300	226	256	190	187
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										77(60)

Q大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	2,651	2,690	2,484	2,380	2,358	2,328	1,026	70,270	2,161	2,037
入館者数	72,300	74,300	70,300	71,700	74,200	76,800	84,000	75,000	77,000	69,000
入館者数÷学生数	27.3	27.6	28.3	30.1	31.5	33.0	81.9	1.1	35.6	33.9
貸出冊数	18,000	18,100	18,000	19,500	18,300	16,600	16,000	16,000	16,000	15,000
貸出冊数÷学生数	6.8	6.7	7.2	8.2	7.8	7.1	15.6	0.2	7.4	7.4
年間開館日数	256	273	269	277	268	273	273	273	282	279
閉館時間	17:00	17:00	17:00	17:00	18:00	18:00	18:00	18:45	18:55	19:25
閉館時間（土曜日）	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
蔵書冊数	175,000	179,000	183,000	187,000	190,000	194,000	197,000	200,000	203,000	205,000
蔵書回転率	10.29%	10.11%	9.84%	10.43%	9.63%	8.56%	8.12%	8.00%	7.88%	7.32%
図書資料費（千円）	59,162	60,414	57,509	32,205	54,515	54,261	52,814	50,710	49,464	47,896
相互貸借貸出	-	-	-	-	-	-	10	63	69	92
相互貸借借受	-	-	-	-	-	-	2	5	7	10
文献複写提供	69	88	126	95	130	252	385	468	540	618
文献複写取寄	145	265	207	227	395	313	391	357	244	299
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										20(6)

R大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	15,370	14,056	21,221	14,484	12,343	13,117	13,168	13,693	20,086	20,996
入館者数	549,000	544,000	523,000	519,000	476,000	428,600	435,000	402,000	398,000	585,000
入館者数÷学生数	35.7	38.7	24.6	35.8	38.6	32.7	33.0	29.4	19.8	27.9
貸出冊数	83,300	88,100	85,700	91,500	86,400	86,200	90,000	98,000	102,000	140,000
貸出冊数÷学生数	5.4	6.3	4.0	6.3	7.0	6.6	6.8	7.2	5.1	6.7
年間開館日数	250	252	261	259	250	249	255	261	273	274
閉館時間	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30
閉館時間（土曜日）	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00
蔵書冊数	630,000	643,000	657,000	670,000	680,000	693,000	708,000	720,000	759,000	802,000
蔵書回転率	13.2%	13.7%	13.0%	13.7%	12.7%	12.4%	12.7%	13.6%	13.4%	17.5%
図書資料費（千円）	146,936	146,936	144,915	152,936	149,452	149,700	135,211	138,339	182,814	201,673
相互貸借貸出	216	223	244	468	634	529	509	383	512	512
相互貸借借受	50	84	108	181	188	171	131	190	238	198
文献複写提供	929	768	524	972	1,213	1,049	1,171	995	1,119	1,364
文献複写取寄	688	1,068	821	898	888	1,205	835	920	1,353	1,480
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										54(36)

S大学

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
学生数	7,899	7,356	7,420	6,908	6,443	6,364	6,874	6,900	6,782	6,436
入館者数	364,000	334,000	302,000	287,000	283,000	255,000	259,000	293,000	285,000	308,000
入館者数÷学生数	46.1	45.4	40.7	41.5	43.9	40.1	37.7	42.5	42.0	47.9
貸出冊数	74,000	68,300	59,300	59,200	57,900	55,200	49,000	-	68,000	62,000
貸出冊数÷学生数	9.4	9.3	8.0	8.6	9.0	8.7	7.1	-	10.0	9.6
年間開館日数	248	252	255	254	257	262	269	290	269	275
閉館時間	21:10	21:10	21:10	21:10	21:10	21:10	22:00	22:00	22:00	22:00
閉館時間（土曜日）	19:40	19:40	19:40	19:40	19:40	19:40	20:00	20:00	20:00	20:00
蔵書冊数	540,000	555,000	580,000	598,000	612,000	628,000	640,000	653,000	671,000	689,000
蔵書回転率	13.7%	12.3%	10.2%	9.9%	9.5%	8.8%	7.7%	-	10.1%	9.0%
図書資料費（千円）	235,587	236,339	281,671	273,168	206,397	228,863	229,302	-	259,221	277,784
相互貸借貸出	833	1,113	1,348	1,535	1,312	1,311	1,159	864	1,064	1,029
相互貸借借受	132	174	186	210	159	181	198	234	212	191
文献複写提供	1,928	1,822	1,874	2,027	2,326	2,281	2,480	2,295	2,648	2,128
文献複写取寄	466	779	761	564	757	639	788	1,135	1,624	1,091
パソコン台数(インターネット利用可能台数)										27(27)

また、別途各大学に以下のようなアンケート調査を行った。

① 館内コピー機台数

② 入館者を増やすために工夫しているガイダンスやイベント等実施しているものはあるか（他部署と連携して行っていることなど）

調査結果が下記の表である。

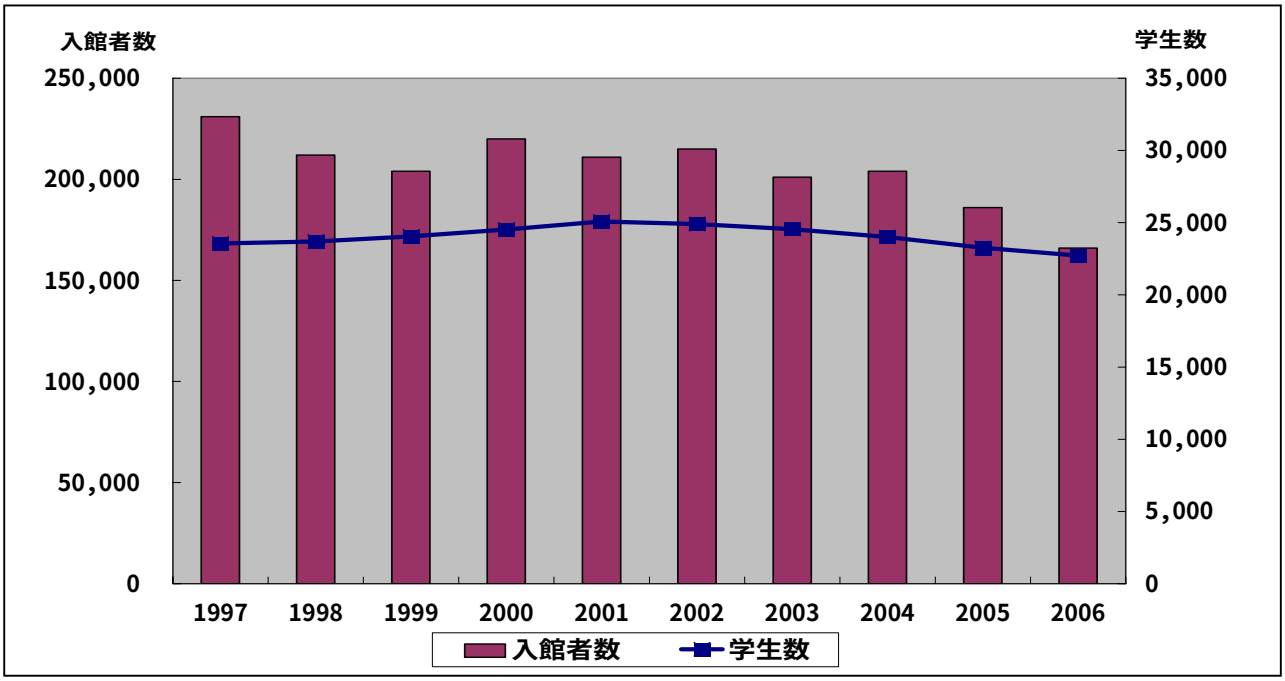
	コピー機台数	工夫しているガイダンス・イベント等
A 大学	3	ガイダンス実施（授業形式） 教員・ゼミ学生とのタイアップによる展示会 他部署との連携による展示会
B 大学	7	新入生ガイダンス実施 院生対象のデータベースガイダンス 卒論生対象ガイダンス
C 大学	5	読書マラソン CD の貸出 学生図書委員会 院生委員会 リーディングプロジェクト（学生）独自による展示 ホームページの充実
D 大学	6	
E 大学	5	各種ガイダンス実施 基礎ゼミ実施 展示会開催
F 大学	32	貴重書展示会（年 10 回程度） 各種オリエンテーション
G 大学	9	基礎ゼミ実施（新入生全員必修・全学で実施） ゼミガイダンス（クラス単位・教員からの申込制　夏：4 年生、秋：１～3 年生）
H 大学	8	
I 大学	10	
J 大学	7	ライブラリーツアー OPAC の検索ガイダンス データベースガイダンス
K 大学	1	レポート・卒論作成のための新聞・雑誌記事の探し方ガイダンス OPAC ガイダンス、 文献検索個別ガイダンス 卒業論文作成のためのガイダンス
L 大学	20	
M 大学	7	学生選書委員会、推薦図書の設置

N 大学	6	新入生ガイダンス ゼミガイダンス 文献検索ガイダンス AV ホールを授業用で貸出
O 大学	3	新入生導入教育の実施（必修） 推薦図書の展示 教員著作図書の展示
P 大学	5	
Q 大学	3	毎月テーマを決めての展示
R 大学	8	各種ガイダンス実施 （データベース活用ガイダンス、 他部署連携ガイダンス（就職とのタイアップ）等）
S 大学	5	コレクションの展示会 各種ガイダンス 新聞資料に取り上げられた図書の購入・広報 卒業生コレクション（卒業生が著者である資料）

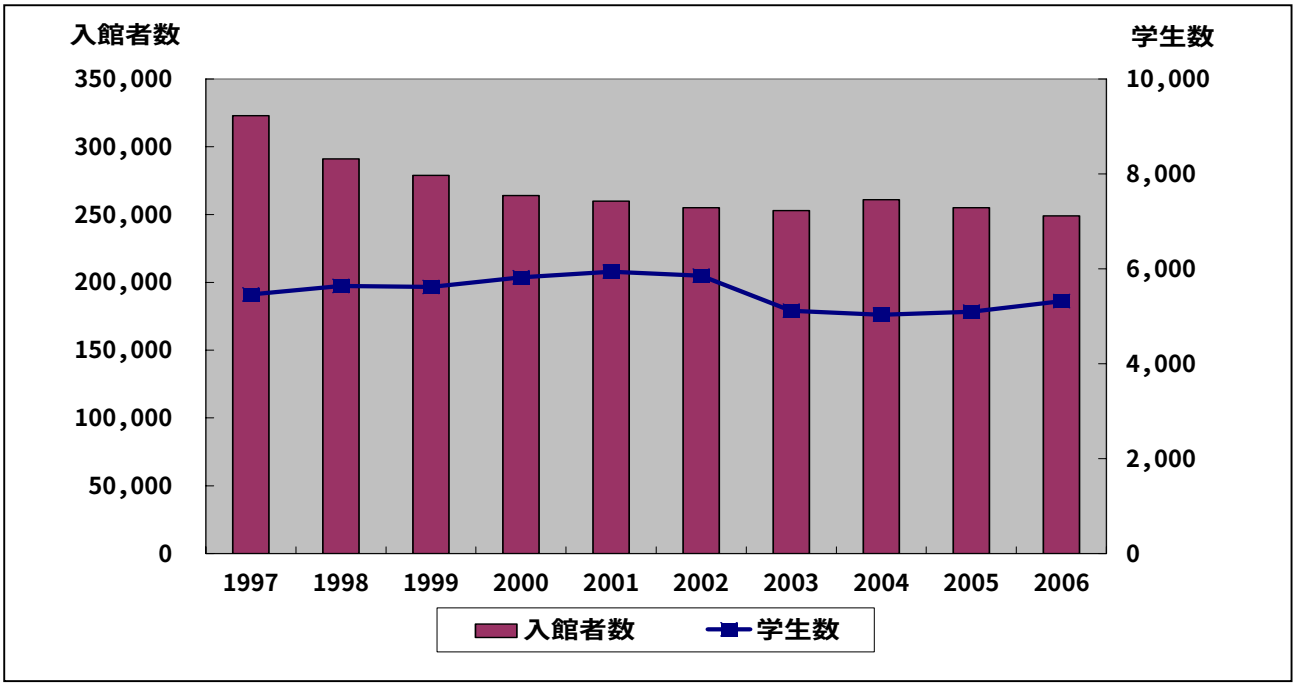
Ⅲ　入館者数減少傾向の見られる大学

調査を行った大学図書館の中から、実際に入館者が減少傾向にある事例について紹介する。

（表 1）



（表 2）



（表１）（表２）は、Ａ大学、Ｎ大学の 10 年間の入館者および学生数の推移をグラフにしたものである。学生数も減少しているが、入館者数もこの 10 年で（表１）（表２）ともおよそ７万人近く減少している。

入館者数が減少している大学図書館の共通の要因として、以下のような事由が挙げられる。

①インターネットの普及による検索・情報の容易な入手

アメリカのデジタルレファレンスサービスのひとつであるサイト“My web librarian”（現在は“AskAway”に移行。http://www.askaway.info/）における 2003 年の利用者調査によると、学生が好む情報源として、「Web」が全体の 71.4%を占め、「図書館」と回答した利用者はおよそ 20%であるという結果が出ている。“My web librarian”のアンケートに回答した利用者からは「このページは私のホームページにしています」「この web ですぐ回答がもらえました」との声も出ている。

日本の大学図書館にも、インターネットの普及は大きな影響を与えている。

オンラインデータベースの導入は大学図書館では常となり、調査したほとんどの大学が、図書館以外にパソコンを使用することができるメディアネットワークセンターを設置しており、そこからでもオンラインデータベースが使用でき、論文の全文が見られるなど、情報を容易に得ることができる。データベースによっては、自宅での検索も可能となっているものもある。

パブリック・サービス研究分科会会員校の図書館ホームページを見ると、半数以上の大学図書館では、Web 上での資料貸出延長を行うことができる。その中のいくつか

の大学は、オンラインでの文献複写申込・相互貸借、紹介状発行申込なども可能である。携帯電話からの資料検索や予約が可能な大学も多い。また、全国的に見るとオンラインでレファレンスや参考調査の受付を実施する大学も存在する。
このように図書館に行かずして、あるいは行く回数を減らして、自分の求める情報が的確に、また容易に入手が可能となってきていることはまぎれもない事実である。

② 活字離れや読書離れによる勉学意欲低下と少子化による「大学全入」

インターネットの普及は、「活字離れ」「読書離れ」という言葉をももたらした。日頃読書をする習慣がなくなってきている学生も少なくないとも言われている。全国学校図書館協議会が毎日新聞と共同で毎年実施している主に小・中・高校生を対象とした「学校読書調査」第 53 回（2007 年）によると、高校生１ヶ月の平均読書冊数は小・中学生に比べるとはるかに低く、高校３年生にいたっては、平均 1.6 冊という結果が出ている。全く本を読まないという高校３年生は男子が 60.5%、女子が 42.5%にものぼる。また、大学生については国立国語研究所グループの調査結果では、「現代文が高校生より正答率が低い。大学生の活字離れが深刻になっているのでは」と指摘されている（2005/9/18 読売新聞より）。

活字離れは、思考力や勉学意欲をも低下させ、特に高校生の勉強離れが予想以上に進んでいるとも言われている。

このような状況に対して「文字・活字文化振興法」が制定され国としても対策を始めている。

このような世代が、誰もが入学できると言われる「大学全入」の時代に入学し、引き続き図書に触れる機会がない（図書館へ足を運ばない）という結果を招いているのではないかとも考えられる。

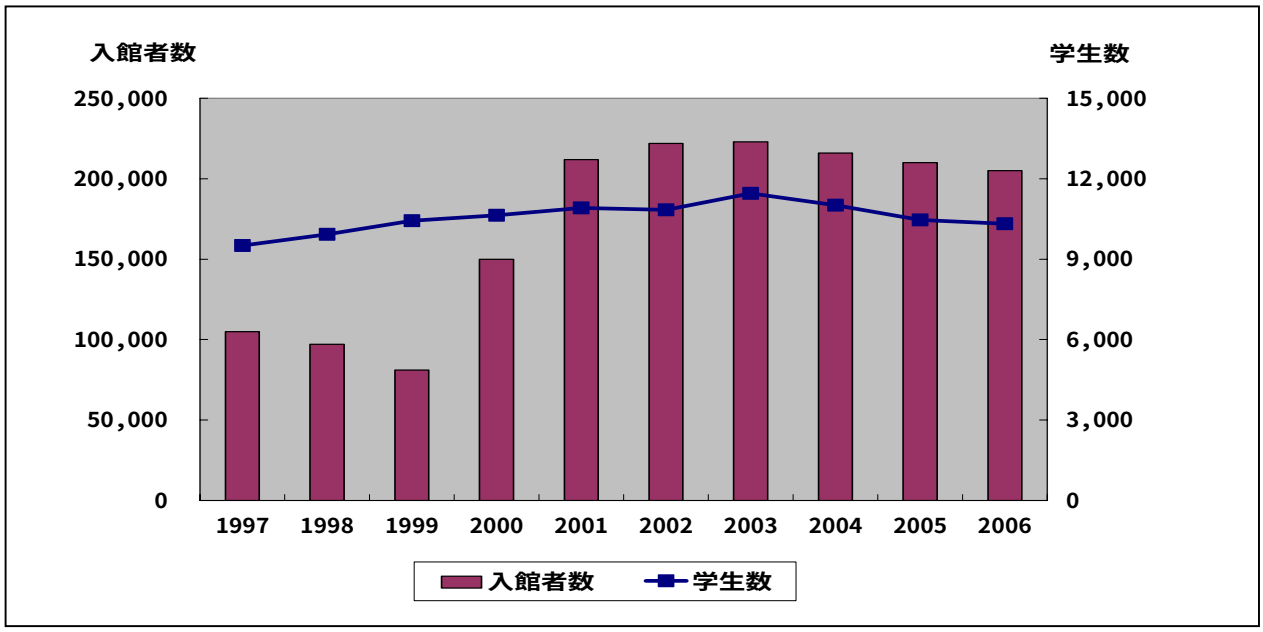
③ 大規模古本屋の増加

近年、大型の古本屋を各地で多く目にする。店内では、文庫本やマンガはもちろんのこと、特に大学近くの古本屋においては、専門書や授業の教科書として扱われている本なども多く揃っていることがある。それらが市価の半額程度で手に入るため、購入して手元に置いて利用するというケースも少なくないと思われる。

Ⅳ　入館者増加傾向の見られる大学

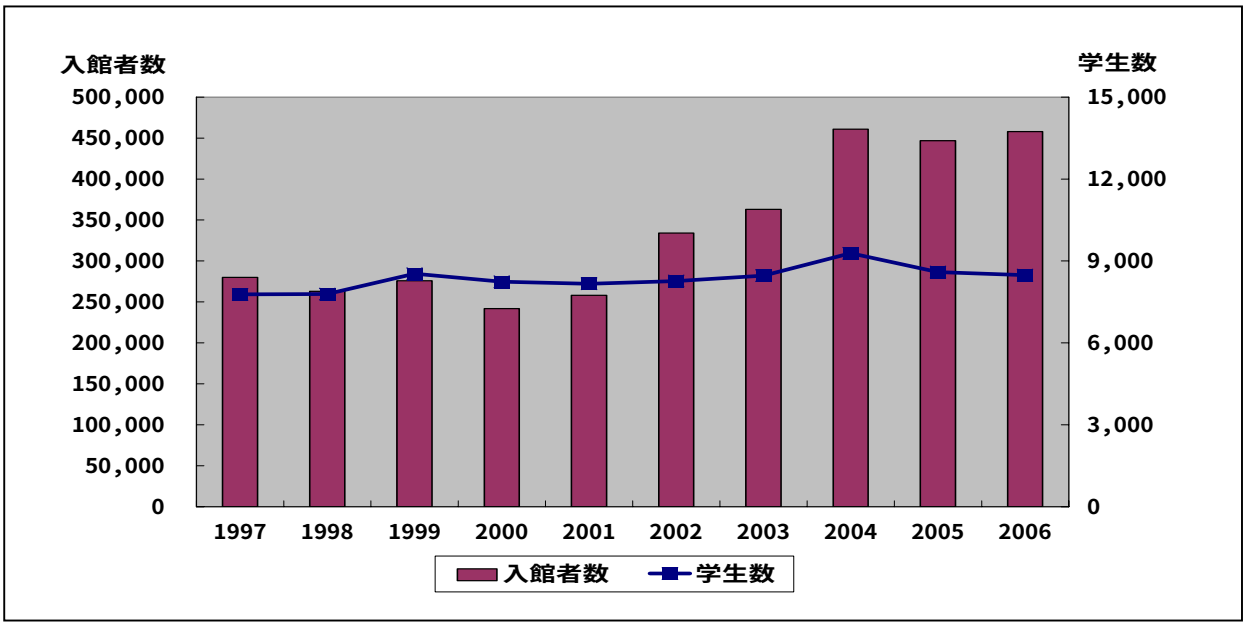
入館者が減少傾向にある大学図書館に対して、大きく増加傾向にある大学も存在する。

（表３）



（表３）は、Ｂ大学のこの 10 年間の学生数および入館者数の推移であるが、近年緩やかな減少があるものの、2000 年以降利用者が急激に増加している。この大学は、1999 年 5 月に図書館が移転。4 階建ての独立した建物であったが、校舎の一角に移転し、各教室から図書館までのアクセスが容易となったことが入館者増加の一因につながったのではないかと考えられる。

（表 4）



（表４）は、Ｃ大学の学生数および入館者数の推移であるが、この 10 年間で入館者がおよそ 2 倍近く増加した。
この大学は、入館者数増加に向けて、以下のような様々な取り組みを行っている。

① 開館日数
この 10 年間でおよそ 50 日増加。現在、年間 308 日開館している。
② 学生の選書参加
図書資料に学生ニーズを反映させるため、実際に学生にも選書に参加してもらう。また、学生の代表者と年 2～3 回の図書委員会を開催し、意見を聞く場を設けている。
③ 読書マラソンの実施
図書館と、学生団体（各クラブなど）が協力し合い、学生に読んだ図書の書評を書くとポイントがたまるという企画を実施。
④ 様々なガイダンスの実施
新入生、卒論支援、入庫講習会など多くの種類のガイダンスを実施することによって、学生に図書館の利用方法を周知してもらう。
⑤ 音楽 CD の貸出
1 回の貸出につき 2 枚まで、7 日間の貸出を実施。
⑥ 図書館内利用者用パソコン台数の増加（2006 年現在 123 台）。

Ｃ大学は、これらが学生に広く周知し、利用者の増加につながったのではないかと思われる。

その他、利用者増加が見られる大学の要因として、

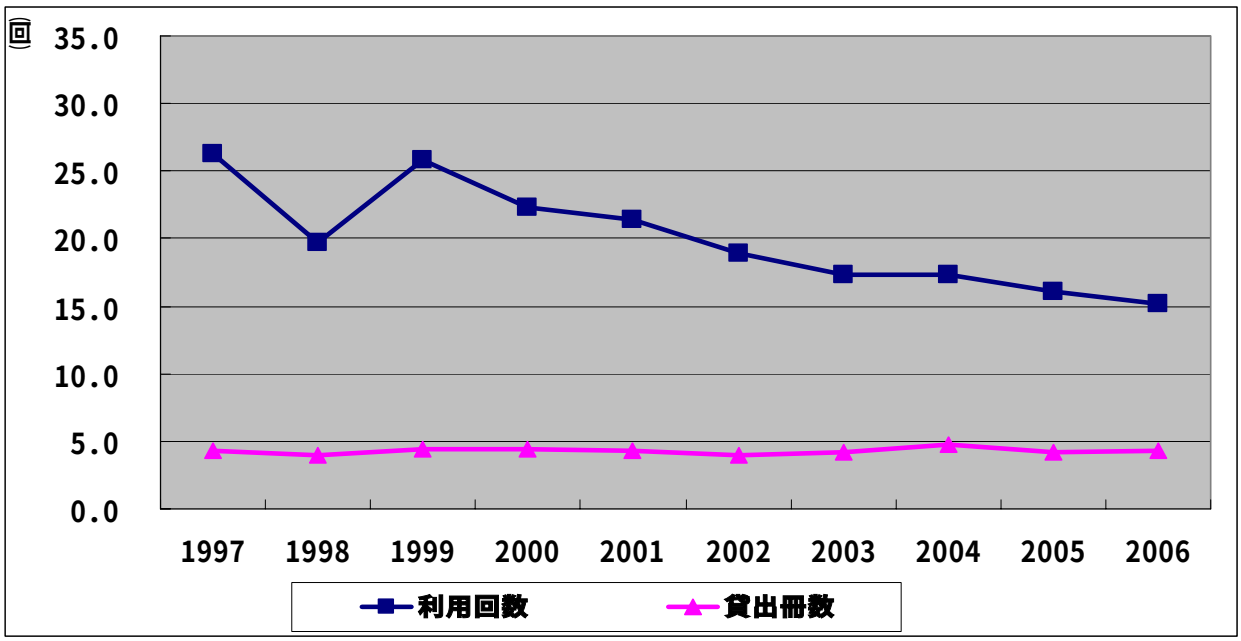
① 学内にラウンジ等座席の余裕がなく、それを求めて図書館へ来館しているのではないか
② 推薦図書、授業用指定図書コーナーを設置している
③ ベストセラー図書を購入し、所蔵している
④ 貴重書展示会やテーマを決めた展示会を行っている
⑤ 学生ニーズに合わせたガイダンスやオリエンテーションを実施
⑥ 新入生必修の導入教育を実施し、図書館利用を周知させる

などが挙げられる。

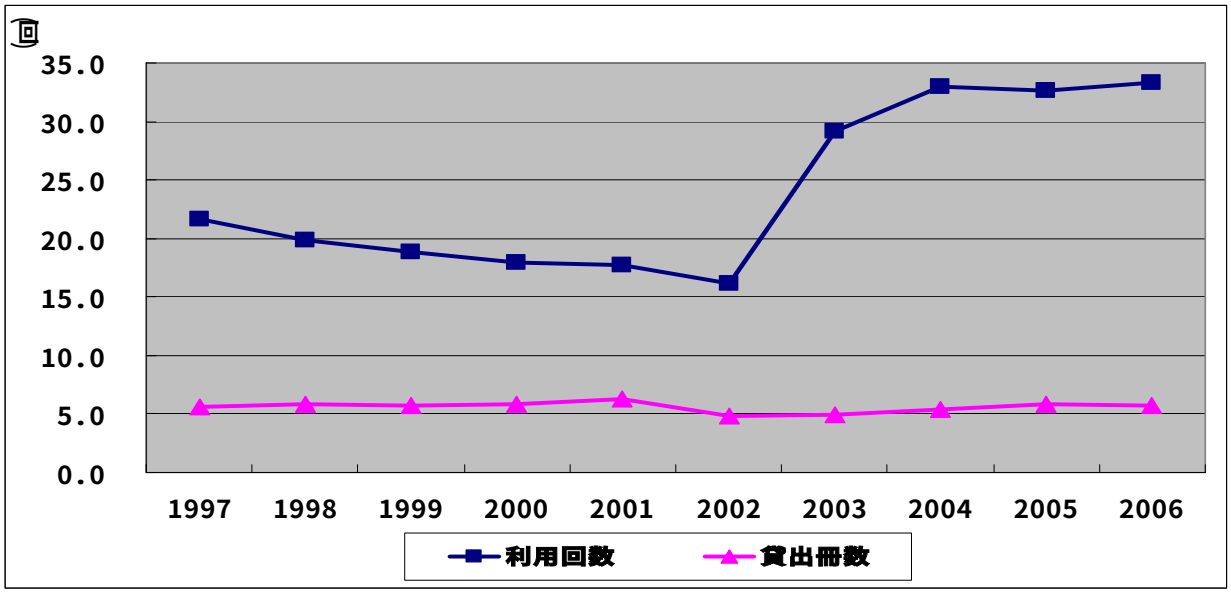
V　その他調査項目から言えること

近年レファレンス・参考調査数が明らかに減少していることを目に見えて感じることが多いため、年々利用者が減少していると思っていたが、今回の調査対象大学（パブリック・サービス研究分科会参加校）の数値から言えることは、利用者数の減少は確かに否めないが、当初想像していたほどの大幅な減少は見られなかった。むしろ、利用者が増加している大学が多いという結果となった。

（表 5）



（表 6）



（表５）（表６）は、Ｄ大学、Ｅ大学の学生１人当たりの年間利用回数（入館者数÷学生数）および年間貸出冊数（貸出冊数÷学生数）のグラフであるが、それぞれ利用回数の変動に違いがあるものの、貸出冊数にはほとんど変動がないことがわかる。他の大学の数値を見ても、大幅な増加・減少が見られる大学は少ないということが明らかになった。ちなみに、すべての大学の学生１人当たりの貸出冊数に注目してみると、10 年間を通して 10 冊に満たない大学が半数以上存在する。このことから、利用者は、勉強するスペースとして利用する学生が多いという傾向が伺える。
また、図書館内のコピー機台数は、多いところで 32 台、その他も最低 3 台以上設置している大学がほとんどであるため、図書を借りずに複写して利用するというケースも考えられる。
　総合的に見ると、恒常的に訪れるというよりは、定期試験やレポート提出等勉強の必要が生じた際に図書館を訪れ、資料を複写したり、館内で勉強をしたり、場合によっては図書を借りていく学生が多いという傾向があるのではないだろうか。

その他にも、以下のようなことがいえる。

① この 10 年間どこの大学図書館も開館時間や休日を含む開館日数を増やし、利用者の減少を食い止めている。
② 図書資料費も大きな増減はない。
③ 活字離れが騒がれているが、今も図書館を恒常的に利用するタイプの学生（環境の変化や学生気質の変化に左右されない）もいる。
④ 学生 1 人あたりの年間貸出冊数が、10 冊以下という実情は、公共図書館の利用者と比べてあまり変わりがなく大学生が一般市民よりも本を多く読んでいないという実態が伺われる。

Ⅵ　図書館の利用を活性化させるために

　学生が今後活躍する社会は「知識基盤社会」であるといわれている。そのため授業は当然であるが、幅広い知識と教養を吸収するために「読書」が欠かせずその装置としての図書館の役割は大きい。またインターネットコンテンツ、データベース、電子ブック・電子ジャーナル化が加速しており、そのための仕組みとそれを効果的に活用する情報リテラシー教育の一旦を図書館が担う必要がある。
先に述べてきた各大学の統計・アンケート結果を基に、活字離れ、学力低下の学生の図書館利用を活発にさせていくためにどのような試みが必要であるかを考えた。

① 他部署や教員、学生とのタイアップによる企画連携

教員と連携したガイダンス、就職課など他部署と共催した企画・展示会等の実施や、学生と意見交換ができるような朗読会、講演会、映画上映会、コンサート、座談会などの実施。

ある大学図書館では大学院生が専用コーナーで学習相談に応じていて、学生が気楽に専門的な質問ができると喜ばれている。

② 読みやすい資料の提供

先日の NHK ニュースで学生の読書量の低さが指摘されていた。1 ヶ月で図書をまったく読まない学生は、全体の 29%になっている。社会に出てからも必要な力である思考力・分析力を学生時代に身につけるためにも、読書は不可欠であり、現在の学生にも読書の習慣が必要であると考える。そのために図書館として学術的資料だけではなく、学生が求めている読みやすい手軽な資料を提供していくことも大学図書館の使命のひとつではないかと考える。そのためには、文庫・新書などの読みやすく、持ち歩きやすい資料を図書館に積極的に受け入れていく必要がある。

③ PC、電子媒体検索スペースのさらなる充実

現在では、図書館内にパソコンを設置しデータベースや電子ジャーナルの閲覧が可能な大学はすでに多く存在している。

しかしながら、これからは図書資料と電子媒体とがうまく共存していかなくはいけない時代に差し掛かっていると考える。そのため、図書館内に無線 LAN エリアを増やす、電子ブック等の閲覧を可能とするスペースを作るなど、更なる充実を図るための努力も必要であると考える。

④ 「場所」の充実

今回の調査や利用者からも「大学内に勉強する所やスペースが少ないからその場を求めて図書館へ来る」という声も多くある。近年の大学図書館の役割はずいぶん多様化し、「本を所蔵するだけでなく、学生にとって勉強しやすい環境であること、憩いの場」としての図書館のあり方が求められている傾向にあるのも事実である。

⑤ ガイダンスの充実

多くの大学で新入生に対しての図書館利用ガイダンス、卒業論文対策のためのガイダンス等様々な工夫をしている。情報の氾濫している現在社会においてコンピューターを使いこなし、ネットワークなどからデータ、情報を引き出し取捨選択する能力をつけ、図書館を使いこなしていけるよう情報リテラシーのガイダンスをきめ細かくしていくことは大切なことである。

ある大学では、情報リテラシーの授業時間に図書館のデータベース等を使用しての授業を行っている。日頃学生が何気なく使用している検索エンジンが危険なも

のもあり、中には信頼性がないものがあることを知る、またデータベースの有効な使い方をテーマにしている。学生からは、「図書館データベースが便利であることを知れた。図書館をもっと利用しようと思った」 等の感想が寄せられている。

Ⅶ　アメリカにおける大学図書館の動向

アメリカの大学図書館においても 1990 年代以降インターネット、web の普及により図書館の入館者数、貸出数の減少が見られた。その対策として打ち出されたものが図書館をコモンズ（Commons）と見る考え方である。コモンズとは「共有資源」「公共の場」を意味しインフォメーション・コモンズという概念が誕生した。デジタル時代の情報資源を利用するための場として図書館を考えたのである。

南カルフォルニア大学リーヴィ図書館は最初にインフォメーション・コモンズを実現した図書館である。1、2 階には 180 台の PC を置き、図書館で提供する電子的情報資源・ウエブ・AV 機器、教材が利用できる。3、4 階は個人の学習利用のスペース。４階は会話、PC 利用は禁止されたサイレント・フロア。週 6 日間は 24 時間開館している。

そして 10 年後、ACRL 全国会議において「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズ」というテーマ設定のセッションが行われた。それはネット世代の学生の学習、生活行動に合わせた施設、設備を備えることである。学生が自主的な問題解決が行われるよう、学習活動支援全般を行うための施設、サービス、資料を提供することであり、学習の場だけではなく想像の場でもあり、安らぎの空間でもある図書館が生まれた。

マサチューセッツ大学アマースト校では 2005 年に図書館の改修が行なわれラーニング・コモンズが設置された。メインフロアにはパソコンが 164 台設置され、学生たちの学習のための座席は個人用やグループで議論できる机等様々であり、個室化したグループ学習室もある。Group　study, Silent　study とエリア分けされているため学生たちは目的に応じて場所が選べる。図書館員のレファレンス、研究支援のデスクなどサービスポイントが置かれ、分からないことがあればすぐに対応してくれる。また、学内の組織との連携により就職上の指導、アドバイスもする。同じフロアにはカフェもあり密閉されている飲食物であれば持ち込みが許可されている。

他の大学図書館でも飲食を許可している図書館は多い。1991 年に実施された医学系図書館調査によると館内での飲食を禁止している図書館は 7%である。

2007 年 8 月の CNN で報告された記事がある。「大学図書館はまるでリビングルーム？」だと言うのだ。ローズカレッジのバレッタ図書館は 4000 万ドルを投じて生まれた。その図書館は「キャンパスのリビングルーム」として学生たちに活用されている。学生たちは静かに読書をする者、仲間と共同学習、共同研究する者、会話を楽しむ者、コーヒーバー目当てのものもいる。しかし、そこに行くことにより質の高い情報を入手できることも知られている。日常的な交流があり、そこから新しい知も生まれてくる

と言う「サロン」の発想がここにはあるのではないだろうか。
　また、利用者教育に関してもアメリカの大学図書館は力を入れ、情報リテラシー支援サービスが多様に行われたのもこの10年である。アメリカ図書館協会は1989年「情報が必要なときそれを認識し、必要な情報を効果的に探し出し、評価し、利用する能力」として情報リテラシーを定義した。
　カルフォルニア大学では 1993 年に専門に担当する部門を作り各種講習会案内などWebサイトから発信し、研究者、大学院生を含めて開催された。
　イリノイ大学では多くの利用者がインターネットを利用する状況下、信憑性の高い情報に導くべく利用者教育を始めた。図書館のホームページのあらゆるページに“Ask a Librarian”のアイコンをつくり、レファレンスサービスを利用しやすいように工夫されている。来館レファレンスは減っている一方で夜11時半まで受け付けているチャットやメールレファレンスが増えているという実績がある。学内の PC では“Google Scholar”を使って資料検索をすると所蔵資料はリンクからフルテキストまで辿ることができる。教員が指定したリザーブ資料は大学のIDがあれば、いつでも、どこからでもフルテキストをPDFで見ることが可能だ。
　カールトン・カレッジの図書館員であるサム・ディマスは、報告書「アレキサンドリアの灰から：大学図書館で何が起っているか」の中で、「多様な交流と学習の場を提供するべきだ」と語っている。それは①安全と快適さ、そして静寂の提供。②学習・文化環境のなかでほかの人と一緒にいられる場所の提供③学習、探求、質問そして娯楽の機会を提供④選択と思いがけない発見の機会の提供。つまりそこに行くだけで学術上の付加価値を感じる場所。それこそが大学図書館の意義ではないだろうか。

Ⅷ　まとめ

　大学図書館は研究支援組織でもあり、学生の学力向上に寄与する教育支援組織でも生涯学習の友でもある。効率よく情報を得るための情報リテラシー教育やデータベースのなどの利用者教育も重要な仕事である。
　しかし最近の学生がインターネットを上手に使い情報を手軽に得ることができる反面、基礎学力である読解力・文章を書く能力に欠けているといわれるのも原因は一冊の本を時間をかけてじっくり読み込み、自らの考えをまとめて文章にするという地道な作業から遠ざかっていることが影響しているのではないだろうか？
　シラバスも充実してきており細かい授業計画も作られていることからすれば、試験期間だけではなく常に学生が図書館を利用している状態が本来の姿である。
　また入館者数をただ増やすというだけではなく、在学生については平素から勉強をするような学習意欲をもたせるためにどうしたらいいかという工夫もしていかなければならない。
　図書館を利用する人は様々である。研究者・学生・生涯教育を受けている社会人・資格試験を目指し、長時間館内に留まる人もいる。また学内試験期だけにコピーを利

用する学生も普段からいつもの時間いつもの席を利用している顔なじみの人もある。
　それぞれの人にとって居心地のよい空間であり、知的な刺激に溢れ、思索にふけることのできる図書館とはどうあるべきか？
　図書館を利用した学生に望むことは卒業した後も自ら調べ、学習してゆくことのできる方法を身につけてもらうこと。何よりも人類知識の遺産である書物に接してもらい、本を好きになってもらうこと。そして図書館は彼らが人生の転機や挫折したり悩んだりした時に再び訪れてもらい学生時代のようにゆっくりと思索にふけることのできる静かな空間を提供できる場所であって欲しい。
　新しい利用者ニーズに対応しつつも、「考える葦」である人間の居場所としての空間を壊さない新しい図書館とは何かを今後も考え続けていきたい。

（参考文献一覧）

・ 日本図書館協会（編集）「日本の図書館」1996-2006

・ 松林正己「図書館はだれのものか-豊かなアメリカの図書館を訪ねて」
　風媒社　2007.2

・全国 SLA 研究・調査部「第 53 回学校読書調査報告」
　『学校図書館』No.685（2007）p12-14

・羽原清雅「垣間見る帝京大生の「活字離れ」-取り戻したい「読む」機能」
　『帝京社会学』第 16 号（2003）p1-18

・横山晋一郎「全入時代の現実」
　『IDE 現代の高等教育』No.491（2007）p17-22

・田中　均「大学図書館における学生利用の促進についての考察」
　『學苑（昭和女子大学）』No.773（2005）p1-9

・中尾康朗「デジタルレファレンスの動向とその可能性」
　『大学図書館研究』65（2002）p11-22

・田中　功「図書館サービスの新しい試み-図書館の快適な環境づくり」
　『専門図書館』225（2007）p31-34

・峯　環「アメリカの大学図書館における利用者サービスに学ぶ-イリノイ大学モーテンソンセンター国際図書館プログラムに参加して」『大学図書館研究』78（2006）p40-52

・田村俊作「レファレンスサービスの新たなモデル」
パブリック・サービス研究分科会講義および資料（2006.11.13）

（参考サイト一覧）

・ Ms.Sharon　H.Domier「IT 環境下における大学図書館と図書館職員の使命-アメリカの大学図書館の現状と今後-」
（http://www.kyoto-seika.ac.jp/seika/network/library/040226_1/HTTP/）

・ 「college libraries are like campus living rooms」
(August2,2007)
(http://www.cnn.com/2007/LIVING/07/26/college.libraries.ap/index.html)

・米澤　誠「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援」
『カレントアウェアネス』289（2006）
(http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1036)

・根本　彰「動向レビュー「場所としての図書館」をめぐる議論」
『カレントアウェアネス』286（2005）
(http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1012)

・ 高井　響「私立大学図書館協会国際図書館協力委員会　2006 年度海外派遣研修報告書」
（http://www.jaspul.org/kokusai-cilc/haken_report2006.pdf）